

**問1** 15世紀初め、室町幕府の第3代将軍である足利義満が中国の王朝と開始した貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。この貿易の相手となった王朝として正しいものを選びなさい。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 明                                      2. 元                                      3. 宋                                      4. 清

**問2** 14世紀の十三湊では、大陸から輸入された大量の陶磁器や銭貨が発見されています。当時、中国から輸入された大量の銭貨が日本国内に流通したことにより、商業においてどのような変化が起きたと考えられますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2021年 愛知公立入試 類似）

1. 貨幣経済が浸透し、各地で市場が開かれるなど商業活動が活発になった      2. 朱印船貿易が開始され、東南アジアに日本町が形成されるようになった      3. 問屋制家内工業が普及し、農村で商品作物の加工が盛んに行われた      4. 両替商が発達し、全国の藩札を整理・統合する仕組みが整えられた

**問3** 紫式部が著した『源氏物語』の一場面を描いた絵巻物や、遣唐使の廃止に伴い日本独自の生活様式や文化が発達した国風文化が見られる資料がある。この資料に該当する時代はどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 平安時代                                      2. 奈良時代                                      3. 鎌倉時代                                      4. 江戸時代

**問4** 九州の政治・外交の拠点であった大宰府に関連のある人物について、活躍した時期が古いものから順番に並べた組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 鑑真 → 最澄 → 菅原道真 → 足利尊氏      2. 最澄 → 鑑真 → 菅原道真 → 足利尊氏      3. 鑑真 → 菅原道真 → 最澄 → 足利尊氏      4. 最澄 → 菅原道真 → 鑑真 → 足利尊氏

**問5** 室町幕府が、京都に拠点を置く金融業者である土倉や、酒の醸造を行っていた酒屋に対して「倉役」や「酒屋役」といった税を課した理由と、その背景に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 山口公立入試 類似）

1. 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。      2. 幕府が貨幣の使用を禁止し、物々交換の経済へ戻すための資金を確保しようとした。      3. 地方の有力な農村組織である「惣」が幕府に反抗したため、軍事費を捻出するために臨時の課税を行った。      4. 幕府が土倉や酒屋を廃止して、すべての金融業務を公的な役所で行うための準備資金が必要だった。

**問6** 室町時代に東アジアで行われた貿易の歴史を整理した以下の説明文において、空欄にあてはまる人物として最も適切なものを選んでください。「この人物は、室町幕府の第3代将軍として南北朝の合一を成し遂げた。その後、明（中国）の皇帝から『日本国王』に封じられ、正式な貿易船と海賊（倭寇）を区別するために『勘合』という合札を用いた日明貿易を開始した。」

（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 足利義満                                      2. 足利尊氏                                      3. 足利義政                                      4. 足利義昭

**問7** 室町幕府において、政治の実務を統括するために設けられた役職について説明します。この役職は、足利氏の一族である有力な守護が交代で就任し、将軍の補佐役として幕政を支えました。この役職の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 管領                                      2. 執権                                      3. 老中                                      4. 若年寄

**問8** 1467年に京都で始まり、約11年間にわたって続いた戦乱について、その発生の直接的な背景と、社会に与えた影響の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。      2. 農村での一揆が全国に広がったことが背景となり、幕府が守護大名の力を借りて農民を支配する体制が強化された。      3. 徳川家康と石田三成の対立が背景となり、戦乱の後には幕府による大名への統制が厳しくなった。      4. 海外との貿易利権をめぐる対立が背景となり、将軍の権威が高まって守護大名の力が弱まった。

**問9** 14世紀末から15世紀初めにかけて、室町幕府の第3代将軍である足利義満が明の皇帝から「日本国王」として認められ、正式に開始した貿易を何といいますか。（2017年 大阪公立入試 類似）

1. 日宋貿易                                      2. 日明貿易                                      3. 南蛮貿易                                      4. 朱印船貿易